

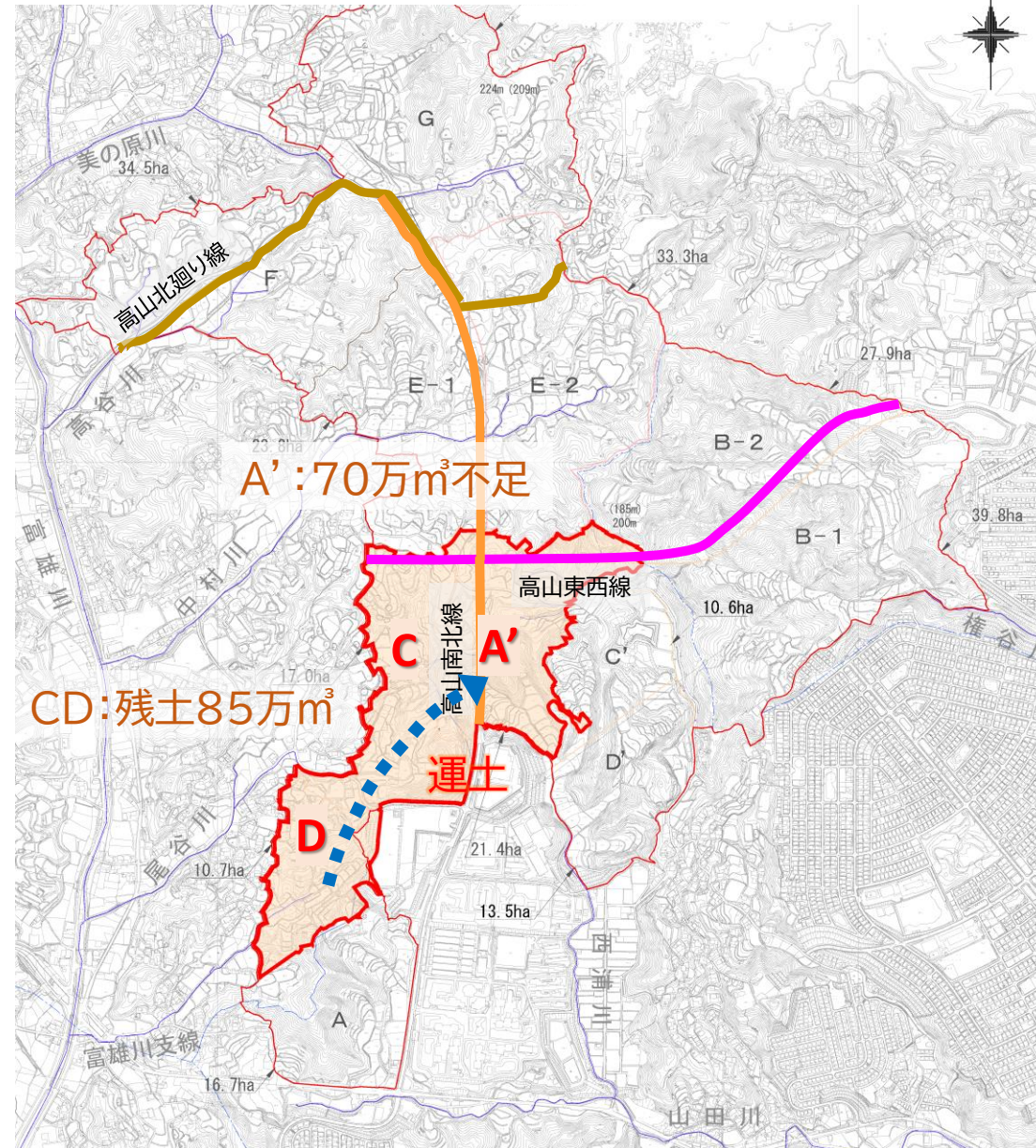
資料4

次期個別地区選定の考え方について

(1)第1回事業推進会議(R4.11.21)の振り返り

段階的整備の考え方及び先行個別地区の設定

先行個別地区の提案



- ・骨格道路の整備
 - ・水道の整備
 - ・工事の進入路
- の3条件に整合するA'エリアを優先整備するため、

土量バランスを考慮しつつ
エリアを組み替え、
A' CDのエリアを想定。

- ・この組み合わせにより、地区内で運土することが可能となる。(重ダンプによる運土。)
- ・ただし面積が約50haと大きくなる。

■第1回 学研高山地区第2工区事業推進会議 主な意見等

<先行個別地区の考え方についての主な意見>

- ・事業規模は少し大きくなるが、骨格道路、上水道、工事進入路及び運土の条件から先行個別地区をA' CDとすることは合理的である。
- ・連続性、一体性のあるまちづくりを誘導していくことができれば良い。その意味で、A' CDが一体で先行個別地区として設定されることは理想的である。
- ・規模が大きくなると地権者が多くなるため合意形成に時間を要する。



今回は、事業アドバイザーの意見を基に事業の段階的な整備手順の観点から工区の設定や時間的な展開について示された。今後は、地権者の意見を踏まえて実現へと進める必要がある。

<その他>

- ・次期個別地区の時期、地区設定及び組織化については今後の課題とし、事業アドバイザーへの事前ヒアリング等、判断材料としての情報収集を行う必要がある。

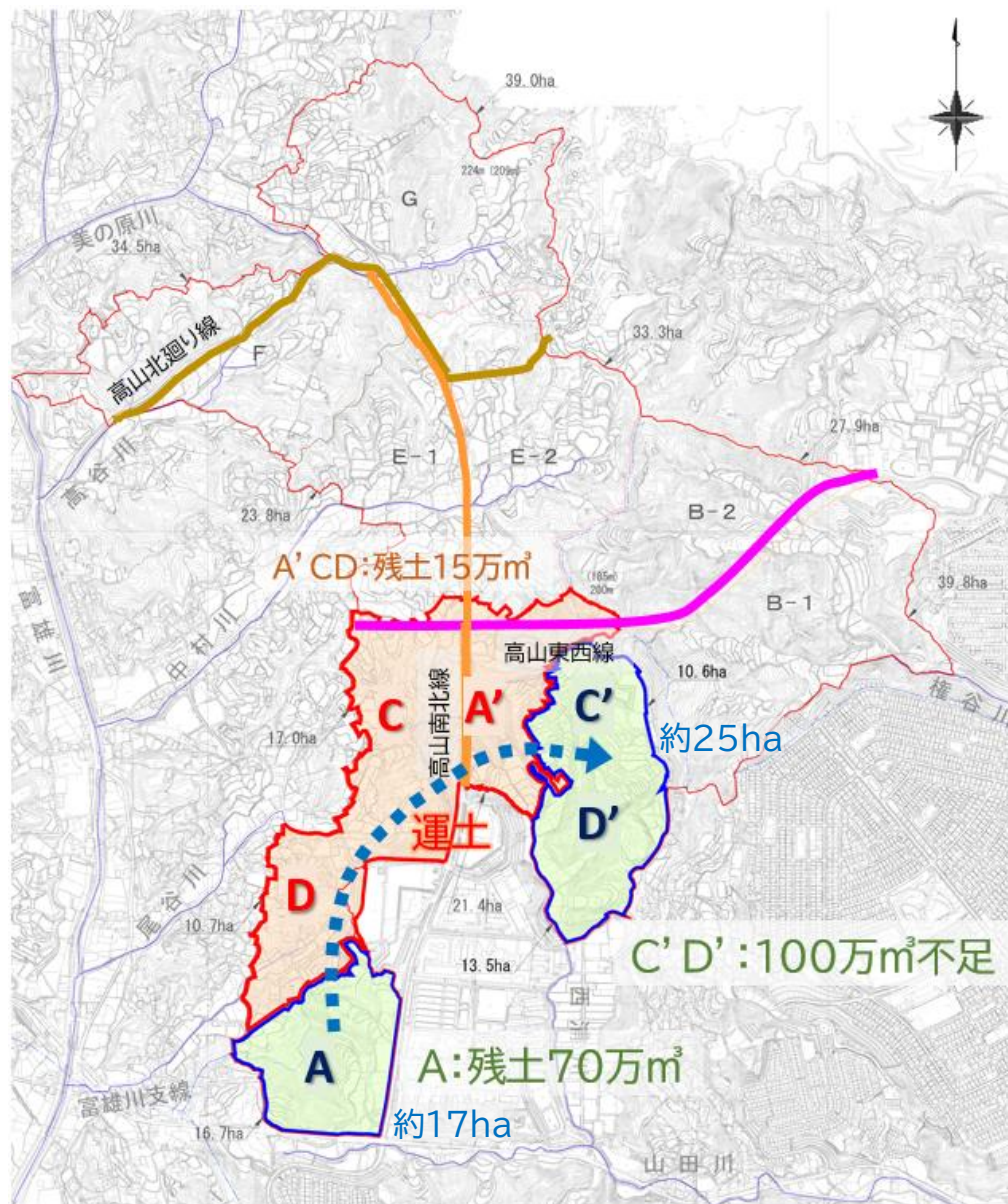
(2)次期個別地区の設定に向けて

<次期個別地区の考え方について>

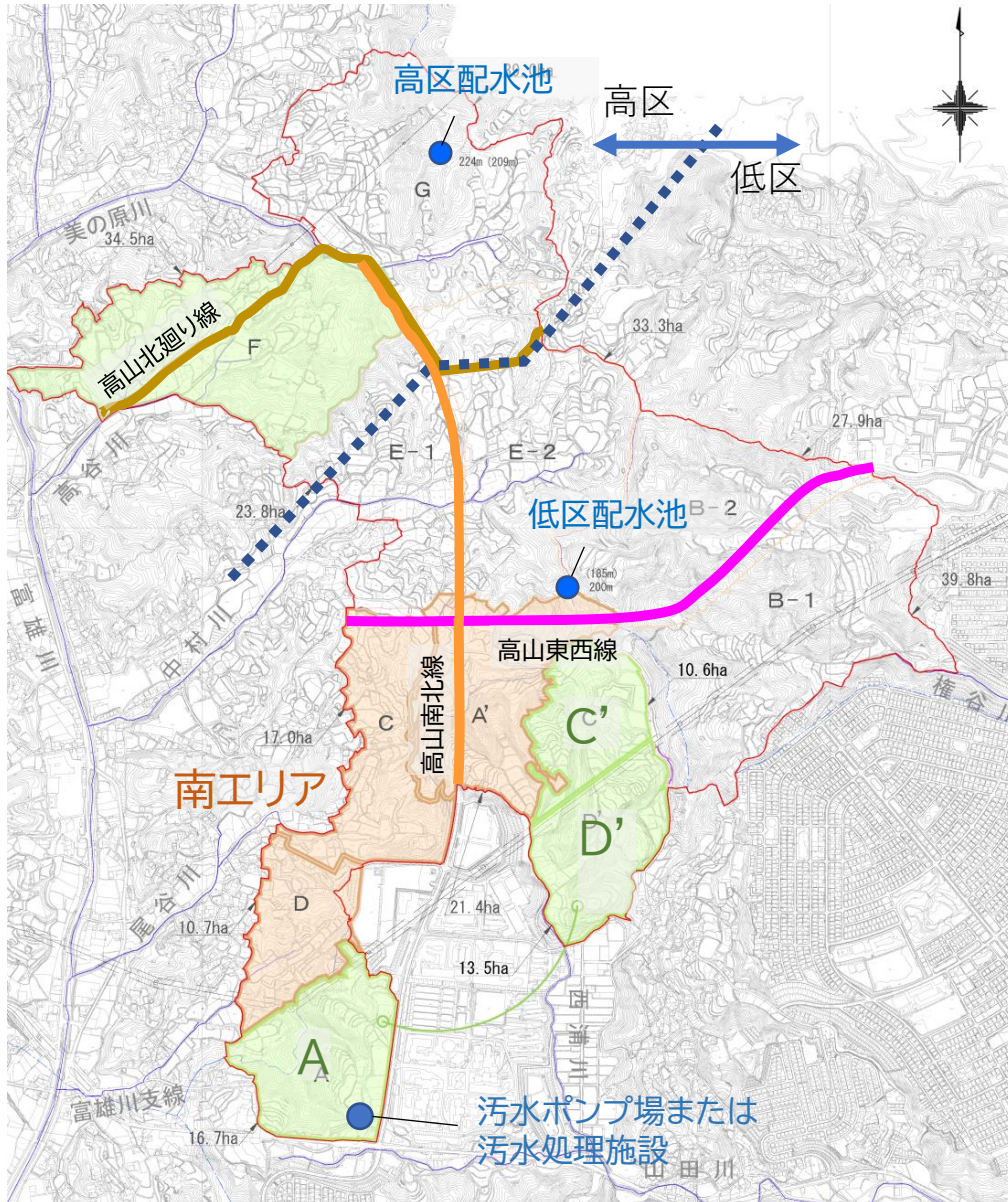
- ・Aの土を動かすことを考えると

AC' D'

- ・土量バランスが可能なエリア
- ・規模は概ね30ha
- ・低区配水池、高区配水池の整備を
意識したエリア
- ・企業誘致を優先したエリア



次期個別地区選定の考え方



- ・低区配水池から給水可能
- ・汚水処理施設の整備が必要



次期個別地区:AC' D'

次期個別地区の状況

| | 区域 | 地権者の数 | 地区面積 | うち市所有地 | 市所有地割合 |
|------|----------------------|-------|-------|--------|--------|
| A | 高山町(芝) 区域 | 約43名 | 約17ha | 約9ha | 約53% |
| C'D' | 高山町(久保) 鹿畑町 区域 | 約82名 | 約25ha | 約12ha | 約48% |
| 合計 | | 約125名 | 約42ha | 約21ha | 約50% |

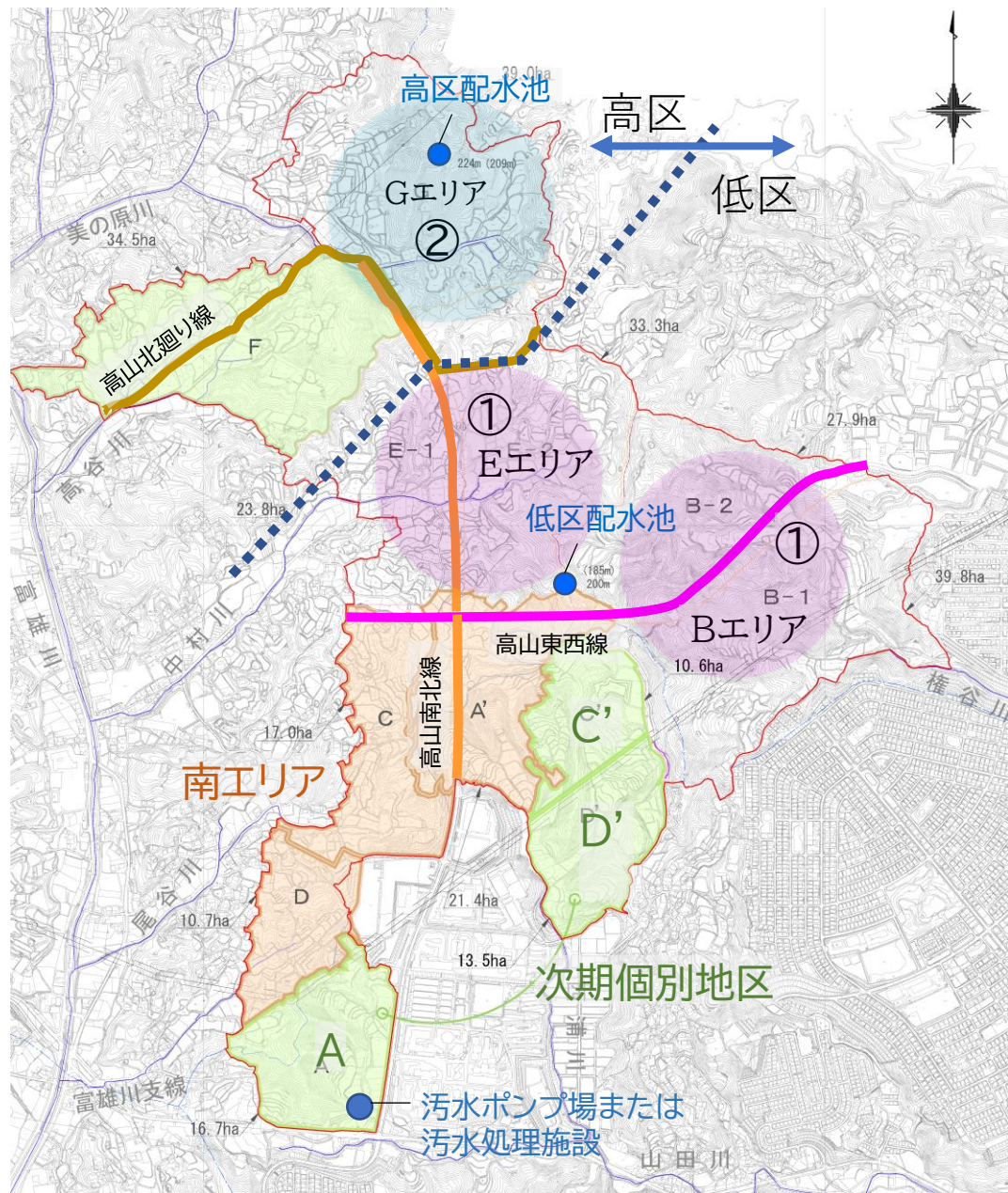
次期個別地区選定の考え方

事務局(案)

以下の事項に留意し、次期個別地区としてAC' D' を選定する。

- 土量のバランスを考慮
- AからC' D' への効率的な運土を行うため、南エリアの完成までに実施
- AC' D' を一体とした地権者の組織化

今後の段階的整備の進め方(参考)



○次期個別地区以降の整備展開

条件

- 低区給水区域
- 骨格道路の整備

- ・高山東西線 ⇒ Bエリア } ①
- ・高山南北線 ⇒ Eエリア }

高山南北線の整備後

高区配水池の整備 ⇒ Gエリア ②

※事業規模や事業者のニーズを勘案し、各エリア内における「段階的整備」も検討

※各エリアの組合組成の時期は、先行する事業の完了に引き続き施行できるよう検討

(3) 今後のスケジュール

今後のスケジュール

